

## 学校評議員会の報告書

### 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校 長 板倉 寿明

学校住所 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

1 会議の名称 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 学校評議員会

2 会議の構成

委 員

石川 孝信 様	株式会社サムソンウインズ代表取締役社長
縄田 栄子 様	本巣市本巣民生児童委員
早川 隆雄 様	西秋沢地区自治会長
水野 範子 様	本巣市障がい者就労支援センター所長
村瀬 忍 様	岐阜大学教育学部特別支援教育教授

(委員名は五十音順)

学校側

P T A 会 長	堀 友枝	小学部主事	鹿嶋 成美
校 長	板倉 寿明	中学部主事	前田 晴美
事 務 長	田中 実	高等部主事	中村 真章
教 頭	渡辺 正	教務主任	福井 三和子

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成27年7月9日（木）午前9時30分～11時20分  
場 所：岐阜本巣特別支援学校校長室  
出席者：委員4人、学校側7人

5 会議の概要

- 校長挨拶と学校評議員の委嘱
- 授業参観及び施設見学
  - ・ 中学部
  - ・ 高等部
- 本校の現状と課題説明
  - ・ 校長による学校概要説明
  - ・ 各学部主事、教務部より概要説明
  - ・ 高等部の作業製品の価格について
- 学校評議員からの意見、質疑応答

以下に会議での主な意見を記載します

## 6 会議の内容

### <<高等部の作業学習に関して>>

- 意見1 手工芸班が作っている刺し子のふきんは、年間どれぐらいの数が売れるのか。  
回答 今正確な数はお答えできないが、作るペースが速い生徒だと一週間に1～2枚を仕上げる  
ことができる。(平成26年度の売り上げは62枚)
- 意見2 7月8日に行われた県庁での合同販売会では、どのようなものを販売したのか。  
回答 高等部の作業学習で作られた様々な製品を販売した。ここにあるような手工芸班の製品と  
か、食品加工班のクッキー、紙製品等である。
- 意見3 手工芸班の製品の種類は、今、どれぐらいあるか。30種類くらいあるのか。  
回答 30種類以上はあると思う。(平成26年度は42種類)
- 意見4 こうした製品は、買い手のニーズに合わせて作るのか、それとも生徒ができるものを作  
っているのか、どちらか。ニーズに合わせ過ぎると、難しい製品を作ることになり、教師  
ばかりが作ることになるのではないかと思う。  
回答 両方の意味合いをもって作っている。客層を考えながら、これなら売れるかなと予想し、  
他校の製品や雑貨屋等で売られているものも参考にしながら、生徒の実態を踏まえて製品  
を考えている。
- 意見5 こちらの製品は、道の駅とかでは販売していないのか。  
回答 道の駅とかでの販売は、条件が難しい。製品を委託形式で販売することができないため  
である。
- 意見6 近くにある刑務所で矯正展をやっているが、そこで販売しているか。  
回答 そこでの販売実績はないが、地域の祭り、例えばホテル祭りとか、地域の小学校で行われ  
る催しでの販売は行っている。
- 意見7 製品の販売には需要と供給のバランスが大事である。生徒によっては気分によって作る速  
度が遅くなったりしてたくさん作ることができないことがあるかもしれないが、販路を広  
げ、少しでも多くのお客さんに買っていただき、「いいものだね」、「もっと欲しいね」  
という買い手の声を生徒に聞かせてやることも大事だと思われる。また、どれだけ作っ  
て、どれだけ売れたかが分かることで、作る喜びや楽しさを味わってもらえるようなシス  
テムづくりと、販路の拡大をすると良いと思われる。  
私のところでも協力できるので、いつでもいってほしい。これからも生徒がのびのびと楽  
しく製品を作ってもらえると良いと思う。
- 意見8 作業学習をとおして、いろいろな技術を身に付けていく様子は分かるが、卒業後ここで培  
った技術を生かした就職に結びついていきますか。  
回答 直接、就職に結びつくことは少ないが、作業学習をとおしてどの仕事にも共通する、働く  
姿勢や仕事に対する態度を身に付けている。

### <<その他>>

- 意見9 学校の様子を見せていただくと、先生方のご苦労がとてもよく分かる。先生方のメンタル  
面でのフォローはどうしているか。例えば、集団に入れないうちの子どもの指導について、集  
団に入れるのかどうするのか、といったことで先生方も悩まれるのではないか。  
回答 生徒の指導については、一人一人に目標を設定し、活動において、ここは頑張ってもら  
いたいといったねらいをもって指導にあたっている。そうした話し合いも学級の担任、副担任、  
それから学年、学部で行い、フォローしあっています。また、困ったときは校長をはじめ、  
教頭、部主事等、管理職に話を聞いてもらっている。
- 回答 仕事はチームプレイだと考えている。チームで対応していこうと職員には話している。そ  
れぞれストレスはあるとは思いますが、個人プレーではなくチームで対応することが大切で、  
それが少しでもストレス解消につながるのでは・・・と考えている。

- 意見 1 0 本当にご苦労様としかいえないほど、先生方が頑張っておられる。  
かつて重度障がい者のボランティアに行ったが、重度のお子さんが、いろいろな音楽を聴いているときの様子を見て、とても和んだ表情をしていた。今日、中学部の自立学級の授業を見て、音楽っていいなあと改めて思った。これからもどんどん音楽を取り入れてほしいと思う。
- 意見 1 1 セミナーハウスの臭いが気になります。また、セミナーハウスの2階に行くと高等部の生徒が静かに作業していますが、蒸し暑い。子ども達は、暑くても暑いといえないので、もう少し環境を整えてもらえると良いと思う。
- 回答 一応、エアコンはありますが、大変古く効きが悪いのが現状です。
- 意見 1 2 鳥取で看護師さんが、保護者のクレームに耐え切れず、全員辞めたというニュースがあったが、この学校にも看護師はいるか。またそうした保護者からのクレームには誰が対応をするか。
- 回答 本校には医療的ケアを必要とする児童生徒がいるので、看護講師が3人いる。常時1名で対応しているが、今のところそうした看護講師のことで保護者からのクレームはない。もし保護者からのクレームがある場合は、管理職が対応する。
- 意見 1 3 運動会の様子を先日拝見して、仲間を大切にする姿に感動した。時間を要する子を待つ姿勢、待ったことでその子が最後までやりきる姿にとても感動したが、ふと自分の現場のことを考えると、難しいなと思った。どこまで待つか、現場では納期等もあり、待つばかりいられないことも現実で、そのギャップを感じた。
- 意見 1 4 本校からの就業体験で、私たちの事業所に実習に来てくれた生徒がいた。どの生徒も慣れないなかで、一生懸命やってくれた。たくさん褒めたいと思う。
- 意見 1 5 私の事業所では、利用者に対して、いつも清潔にしておくように保護者には伝えていますが、学校を卒業すると保護者も手を抜きがちで、何日もお風呂に入らない方もいる。これは習慣なので、小さい時からの習慣付けが大切である。小学部の説明にあったように小さい時からの周辺に関するよい習慣をぜひ継続して身に付けてほしいと思う。

## 7 会議のまとめ

今回の評議員会では、中学部の授業と高等部の作業学習を見学した。そのあと学校の現状と課題を校長と各部主事から説明をした。作業学習やその他の学校の様子について各評議員よりご意見や感想をいただいた。また、高等部の作業学習製品のうち新製品については、実物を手に取っていただいて価格について検討をし、適正であるとお認めいただいた。

本日の会で評議員の方から頂いたご意見やご提言は十分に検討して今後の学校運営に生かしていきたい。